

自慢のものを披露

「桜の里 演歌民謡発表会」

名和公民館サークル「なわカラオケフレンド」と「民謡教室」主催の第24回桜の里演歌民謡発表会が2月21日に保健福祉センターなわで行われました。

満員の客席からの声援にこえて、発表者が演歌、なつめ口、民謡など50曲以上を熱唱し、日ごろの練習の成果を披露されました。



▲熱唱中！！

最後は、恒例のお楽しみ抽選会で会場は大変盛り上がりしました。

交流を深め活動しよう！

大山町女性団体連絡協議会主催の研修会が2月27日に保健福祉センターなわで行われ、約100人の会員が参加しました。

同協議会は、会員同士の交流を深めようと、大山、名和、中山の各地区持ち回りで、毎年研修会や女性レクリエーション大会などを行っています。

会員の皆さんは、鳥取短期大学・白石由美子教授の「楽しくなる音楽講座」、健康運



▲白石教授の歌声にうっとり

動指導士・松田万里さんのストレッチ体操、保育園や小学校で行われている大山町版脳活トレーニング（モジュール学習）を体験して、心も体も癒され充実した一日を過ごしました。

受賞おめでとう

1じいいます

鳥取県西部地区町村社会教育協議会長表彰

2月28日に日吉津村で開かれた「第7回鳥取県西部地区町村社会教育研究大会」で、読み語りてんぐちゃん（代表杉谷安也女さん）が「鳥取県西部地区町村社会教育協議会長表彰」を受賞されました。

同団体は、絵本や手遊び歌を中心にした「ちいさなおはなし会」を毎月第3土曜日に大山公民館で開催。また8月・12月には季節のお話会、高齢者施設でもお話会などを行い、その活動は10年以上継続されています。

今後も、地域に密着した同団体の活動に期待します。



▲受賞した読み語りてんぐちゃん

防災対策と地域づくりを学ぶ

大工学講座

2月27日（土）に生活想像館で、大山学講座を開催しました。

鳥取大学の香川敬生教授に防災対策と地域づくりについて講演をしていただき、鳥取

県内及び西南日本の地震活動の特徴や、実際に地震が起きたときにその瞬間を生き残るために耐震補強や家具を固定することの重要性について学びました。

さらに、地震災害に対する心構えとして、まず自分の身

の安全を確保することの大切さや、地域全体で安全に避難できるような地域との繋がりを深めることの大切さを再認識できるよい機会となりました。

講演の前には、鳥取大学落語研究会に、落語を2席弁じていただき、「喧嘩長屋」では、長屋に住む人々のやりとりがおもしろおかしく弁じられ、人々とのつながりの大切さを考えることができました。



▲地震のメカニズムを説明する香川教授



▲落語「喧嘩長屋」を弁じる風紋亭一途